

無理難題への挑戦を応援する

浦高スポーツ環境等整備

応援プロジェクト

ハードを整える

施設改善
(人工芝化等)

ソフトを整える

地域開放
OB会活性化

**競技力
向上**

**怪我
防止**

**地域
貢献**

学校行事
や授業の
安定運営

浦高から全国に発信



浦高スポーツ環境等整備応援プロジェクトの発足にむけて

この度、浦和高校がグラウンドの人工芝化による部活動活性化プランを作成し、埼玉県教育環境整備基金に申請をされました。

これまで校庭を芝生化（天然芝・人工芝）した学校からは、生徒の怪我が減った、授業や行事が安心して計画的に行えるようになった、活動量が増加した、サッカーなどの技量が増したといった声が聞こえてきます。2018年、浦和南高校サッカー部全国選手権出場の背景には、グラウンド人工芝化により充実した練習が行えるようになったことも要因にあると言われています。全国的にみても、ラグビーやサッカーの強豪校の多くが芝生（人工芝）のグラウンドを持ち活動しています。

そこで私たちOB有志は、今回の取組みを始めとした浦和高校のグラウンドの人工芝化などスポーツ施設等の環境改善にむけた取組みを応援し、授業や行事の安全性や部活動のパフォーマンス向上を図るとともに、各部OB会の継続的かつ連携する仕組みづくりに取組みたいと考えました。これにより、ソフト・ハード・ハートの全ての面から現役生の活動の充実を図れるとともに、OBの皆様が様々な面で母校と関係を持ち続ける機会を増やすことができると考えます。

また、この取組みを浦和高校内に閉ざすことなく、スポーツや文化活動を通して、地域住民を中心とした幅広い年代・分野の人々の交流の活性化や健康増進につなげることで、少子高齢化とコミュニティの弱体化といった社会課題の解決に貢献していきたいとも考えています。

私たちは、現役時代に、浦和高校そして、学校の周囲の街の方々に大変お世話になってきました。その恩返しをすることで、より良い学校さらに地域に愛され続ける学校づくりにもつながるものと期待します。

このような取組みは、公立高校では全国的にも珍しいものであり、浦和高校が率先して取組むことで、これまでの活動と同様に、地域と学校、学校と卒業生の新しいあり方を、社会に大きなインパクトをもって発信できることと思います。

以上の取組みを進めるために、私たちは、浦高スポーツ環境等整備応援プロジェクトを発足し、以下のことに取組みます。

- (1) 整備のための財源確保のための支援
- (2) プロジェクトの主旨、効果に関する啓発
- (3) 浦高スポーツ環境等整備プランの作成

主旨にご賛同いただける方、ご関心を持っていただけた方は、ぜひこのプロジェクトにご協力くださいますようお願いいたします。

2019.8.31

(発起人)

高校20回 小川貴
高校30回 松井幸宏、村井満、持田健生
高校31回 田口智雄、小林利成
高校32回 篠田雅彦、小野崎研郎
高校37回 門脇正法

連絡先：urako.bukatsu.ouen@gmail.com



Facebook